

東京学芸大学附属小金井中学校

[所在地] 〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1 [電話] 042-329-7833 (代表)

[メール] gkoganei@u-gakugei.ac.jp

[学校長] 南 道子

**<教育目標>健康な身体と すぐれた知性と 豊かな情操とをもち 平和で 民主的な社会の進展に
貢献できる 自主的で 創造性に富む国民を育成する**

[特色]

東京学芸大学のキャンパス内に設置されている 本校は、大学学部の教科教育法の授業の一環としての授業参観や参観後の研究協議に対して学部教員と連携して取り組んでいる。また、教育実習の事前・事後指導における授業観察や省察の場を教科ごとに多数提供している。さらに、大学院及び教職大学院の研修や研究への資料提供など、学部や院と連携した学生の指導を積極的に行っている。

学校外の研究機関との連携 本学を通してOECDとの共同研究である「日本における次世代対応型教育モデルの研究開発」プロジェクトに加わり、次世代育成教育を実践する場として授業提案を行い、そこで得られた新しい知見を、次世代育成教育方法に組み込む研究や学部授業へのフィードバック等を行っている。また、北海道教育大学(H)、愛知教育大学(A)、本学(T)、大阪教育大学(O)の連携によるHATOプロジェクトにも関わり、現代的教育課題をキーワードとした映像コンテンツの制作に取り組み、公立学校での教育実習生指導等に活用されることをめざした情報発信を行っている。

教育実習生の指導の充実 130名前後の教育実習生を毎年受け入れている。教科ごとの指導は勿論のこと、学級経営指導にも力を入れている。例えば、配当学級を同じくする実習生全員の協働による道徳の授業実践を必ず行う。また、学級経営や生徒観察をテーマとする学級経営レポートの作成を課している。さらに、保健室での養護教諭からの指導を通して、保健指導の視点から生徒理解を深める力を習得させている。そして、中学校教員をめざす学部3年生の教育実習においては、実習生代表が行う全体研究授業を本校教員と実習生全員で参観する。授業後の協議会では、教科の枠をこえた授業分析と意見交換が行われる。

3年間通して行われる「学を修める」修学旅行 本校では各学年に「修学旅行」を設定し、3学年を通して「研究する力～見方・考え方・味わい方～」について体験を通して学ぶことをめざしている。3つの修学旅行は「調査能力-探求能力-鑑賞能力」という能力の系統性をもとに構成されている。具体的には、1年で「文献やインタビューから情報を得る力」、2年で「知識に基づき論理的に推論する力」、3年で「事物の背後にある思想や文化を味わう力」を習得する。

1年「北総・常南」修学旅行 北総・常南(千葉県北部・茨城県南部)方面へ2泊3日。社会科を中心とした調査活動を行う。貝塚、漁港、製鉄・醤油工場、寺院と門前町、農家などを訪問し情報を収集して考察する。

2年「秩父・長瀨」修学旅行 日本地質学発祥の地である埼玉県秩父・長瀨地方へ2泊3日。地層の観察や岩石・化石の採集活動を通して、「大地は動く」ことの証拠を集め、科学的な分析を行う。

3年「人と文化」修学旅行 明日香・奈良・京都地方へ3泊4日。美術・社会・国語科を中心とした調査活動を行う。2年次に選択した研究テーマごとに学習班を編成し、事前学習を深めて現地を訪問する。明日香村や奈良公園周辺での班行動のコースも学習班ごとに計画する。



1年「北総・常南」修学旅行



2年「秩父・長瀨」修学旅行



3年「人と文化」修学旅行